

衆議院予算委員会ニュース

平成 23.11.10 第 179 回国会第 5 号

11 月 10 日（木）第 5 回の委員会が開かれました。

- 1 平成 23 年度一般会計補正予算（第 3 号）
平成 23 年度特別会計補正予算（特第 3 号）
平成 23 年度政府関係機関補正予算（機第 2 号）
 - ・野田内閣総理大臣、玄葉外務大臣、安住財務大臣、小宮山厚生労働大臣、枝野経済産業大臣、前田国土交通大臣、細野環境大臣、一川防衛大臣、藤村国務大臣（内閣官房長官） 蓮舫国務大臣（行政刷新担当）、平野国務大臣（東日本大震災復興対策担当）及び政府参考人に質疑を行い、質疑を終局しました。
 - ・浅尾慶一郎君（みんな）から、撤回のうえ編成替えを求めるの動議が提出され、提出者から趣旨弁明を聴取しました。
 - ・平成23年度第3次補正予算3案及び撤回のうえ編成替えを求めるの動議に対し、江端貴子君（民主）、橘慶一郎君（自民）、高木陽介君（公明）、笠井亮君（共産）及び阿部知子君（社民）が討論を行いました。
 - ・浅尾慶一郎君（みんな）提出の撤回のうえ編成替えを求めるの動議について採決を行った結果、賛成少数をもって否決されました。
（賛成 みんな 反対 民主、自民、公明、共産、社民、国民）
 - ・平成23年度第3次補正予算3案について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成 - 民主、自民、公明、社民、みんな、国民 反対 共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

若井康彦君（民主）

- ・我が国の災害の歴史を考えると復興期間中に次の災害が発生することは十分考えられるところ、25 年という復興債の償還期間は微妙な長さと言えるのではないかと。
- ・壊滅的被害を受けた被災地については、国は企画・調整のみならず、復興の手掛かりとなるようなパイロット事業を提示し共同で実施していくべきではないかと。
- ・除染について、どこから着手するのが最も効果的であり住民の安心・安全に資するののかという観点から、具体的な戦略を立てる必要があるのではないかと。

伊吹文明君（自民）

- ・第 4 次補正予算の編成を検討しているか、野田内閣総理大臣に伺いたい。
- ・復興債の償還財源がないと国債の信認が失われるという理由について伺いたい。
- ・復興経費の特別会計を設置した場合、歳出を特別会計に計上するのか、野田内閣総理大臣に伺いたい。

高市早苗君（自民）

- ・野田内閣総理大臣の国家経営の理念を伺いたい。
- ・本日発売の週刊新潮の記事に掲載されている玄葉外務大臣の発言について真偽の程を伺いたい。
- ・シルバー人材センター援助事業の平成24年度における予算措置の方向性について伺いたい。

東 順 治君（公明）

- ・現行の小選挙区比例代表並立制のプラス面とマイナス面について、どのように考えるか。
- ・2009 年及び 2010 年の民主党マニフェストでは、衆議院比例代表選出議員定数の 80 人削減を提唱しているが、これにより、民意の集約と反映との間のアンバランスが拡大するのではないかと。
- ・最高裁判決を受けての修正にとどまらず、一票の格差問題、民意の反映、定数削減の三位一体の改革に向けて努力すべきであると考えているところ、野田内閣総理大臣の見解を伺いたい。

赤 嶺 政 賢君（共産）

- ・普天間飛行場の移設・返還について、日米両政府が合意して以降 15 年間進展が見られない理由について野田内閣総理大臣はどう考えるのか伺いたい。
- ・現在の沖縄の米軍基地は、米国占領下で、米軍が沖縄県民から不法・不当に接収した土地に構築されていると考えるが、玄葉外務大臣の所見を伺いたい。

阿 部 知 子君（社民）

- ・年収 400 万世帯の可処分所得が今後減少していくという試算について野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・生活保護世帯が増加していることについて野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・全国町村会が発表した「TPPに関する緊急決議」について野田内閣総理大臣の所見を伺いたい。

浅 尾 慶一郎君（みんな）

- ・共済年金の職域部分を平成 22 年に廃止するとした「被用者年金制度の一元化等に関する基本方針について」（平成 18 年 4 月 28 日閣議決定）は順守されていないが、作り直すべきではないか。
- ・第 3 号被保険者記録不整合問題に係る「運用 3 号」通知は廃止されているが、現在の取扱状況について小宮山厚生労働大臣に伺いたい。

2 国政調査承認要求に関する件

- ・予算の実施状況に関する事項について、国政調査承認要求をすることに協議決定しました。